

埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News



基本理念：患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使 命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針：上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で“患者さんにとって便利”であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

患者さんの権利：当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- (1) ひとりひとりが大切にされる権利
- (2) 安心して質の高い医療を受ける権利
- (3) ご自身の希望を述べる権利
- (4) 納得できるまで説明を聞く権利
- (5) 医療内容をご自身で決める権利
- (6) プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利：(1) ひとりの人間として尊重される権利

- (2) 質の高いおもいやりのある安心安全な医療を受ける権利
- (3) 年齢や理解度に応じた十分な説明と情報提供を受ける権利
*子どもさんとご家族が、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで説明を受ける権利
- (4) ご自身で希望を述べる権利
*子どもさんとご家族が、ご自身の精神的、文化的、社会的、倫理的な問題について要望する権利
- (5) 自己決定の権利
*子どもさんとご家族が、自らの意思に基づいて医療内容を選択あるいは拒否する権利
- (6) プライバシーを守られる権利

災害時にも頼れる病院を目指して

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭



新年あけましておめでございます。今年もよろしく願い申し上げます。

さて、今年は寅年です。12年前の寅年には、小惑星探査機『はやぶさ』が見事に惑星から貴重なサンプルを持ち帰りました。子供のころ天体オタクであった私は非常に感激し、日本の科学技術力の目覚ましい進歩に驚愕しました。今年はどうな寅年となるのでしょうか。

さて、国際医療センターは今年で開設15周年目になります。埼玉医科大学の50周年の歩みの中ではや15年目を迎えることが出来ました。皆様のお蔭をもちまして、国際医療センターもたくましく育てております。私事ですが、2004年に埼玉医科大学に赴任し、丸木清浩名誉理事長から埼玉県一の乳がん診療科を育てるように期待されました。当時違和感を覚えたのは、国際医療センター乳腺腫瘍科教授という肩書でした。国際医療センターはまだ影すらなく野原の状態でしたから、どんな病院ができるのだろうかと心配と期待を抱いておりました。そして見事な病院が2007年に開院し、初代病院長 松谷雅生先生、2代目の小山勇先生のもと、現在までの規模に成長いたしました。

包括的がんセンターは、大学に所属する病院では常にトップの患者数を診療しております。これも一重に地域医療にてご協力いただいております先生方のお力と、感謝申し上げます。私の専門分野である乳がん診療も、手術件数では県立がんセンターを超え、特に4期の乳がん診療では日本で最大数の患者さんを治療し、2019年には第27回日本乳癌学会会長を拝命し、個人的にも大きく成長させていただきました。また、昨年には第6回日本がんサポーターズケア学会を同僚の大崎昭彦先生が開催され、コロナ

禍に関わらず1000人近い参加者を集めました。国際医療センターは個人の成長が組織の成長につながるという文化があります。専門職である医療従事者の成長が、より良い病院を育てると考えております。

今年の国際医療センターにはもう一つ大きなイベントが計画されています。多くのがん患者さんを診療するために化学放射線治療棟が竣工し、早ければ5月下旬から運用開始されます。56床の増床と、全国一を誇る外来抗がん剤治療のための通院治療センター、さらに最新の放射線治療機器を備えた新棟です。地域連携でご紹介いただく患者さんに最高の医療を提供するためにまた一步前進してまいります。同時に初期治療が終了され、地元の医療機関で診療を継続していただくことは非常に重要であり、逆紹介にて継続的な診療を目指してまいります。

心臓病センターも、多くの患者さんをご紹介いただいております。特に救急対応のホットラインをさらに充実してまいります。また、コロナ禍でも心臓移植などの高度な医療を提供してまいります。

脳卒中センターでは、常に全国トップクラスの手術件数を維持しており、救命救急科とのホットラインにより、迅速な治療開始を目指しており、脳血管内治療科、脳卒中内科、脳卒中外科チームが最適な治療法で診療をしております。救命救急センターでは昨年の12月から救命救急士が『断らない救急』のモットーに掲げ、いかなる患者さんにも24時間体制で受診していただいております。

最後に、昨年の第5波の新型コロナ感染者数の増加時には、県内最大数の患者を受け入れ、一時期は58名の新型コロナの患者さんを入院させました。感染症科の光武耕太郎先生が中心となり新型コロナ診療部を立ち上げて、災害的とも思われるコロナ感染に対応できました。特に、地域連携でお世話になっている施設からの転送依頼も多く、災害時に頼れる病院としての使命を果たすべく全職員が一丸となり対応して

くれました。病院長として職員に対して尊敬の念を抱きました。本当にありがとうと頭が下がりました。

引き続き、地域の先生方のお役に立てるように国際医療センターも成長してまいります。皆

様方のご健勝を祈念し、皆様にとり成長の年となることに希望を寄せ、引き続き国際医療センターへのご指導、ご鞭撻をお願いし、新年のご挨拶といたします。

(新棟) 国際医療センター F 棟 化学放射線治療棟を竣工しました



F 棟 化学放射線治療棟 外観



2F 化学療法室

1 階は放射線腫瘍科、2 階は包括的がんセンター F 棟外来・外来化学療法室、3 階は中央検査部、カンファレンスルーム、4 階は F 棟病室となっています。外来化学療法室は国内最大級の規模であり、プライバシーに配慮したセミ個



2F 化学療法室

室のつくりになっています。本年 5 月に稼働予定です。

地域の医療機関の先生方、患者さんに喜んでいただける医療が提供できるよう努めてまいります。

第41回 埼玉医科大学・連携施設懇談会が開催されました

令和3年10月13日（水）18時より埼玉医科大学・連携施設懇談会がWebにて開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和元年10月の懇談会を最後に開催が延期されていましたが、今回新たな試みとしてWebでの開催となりました。

学術講演では、国際医療センター血液浄化部 渡辺裕輔先生より【慢性腎臓病（CKD）診療の最新トピックス～地域医療連携を踏まえて～】、

特別講演では、中央大学大学院戦略経営研究科教授・多摩大学大学院特任教授 真野俊樹先生より【with corona 時代の医療の行方：国際比較とITの視点から】のご講演をいただきました。

学内外合わせて364名での開催となりました。お忙しい中ご視聴いただいた皆様、ありがとうございました。次回の開催日・開催方法は未定ですが、決定次第ご案内いたします。



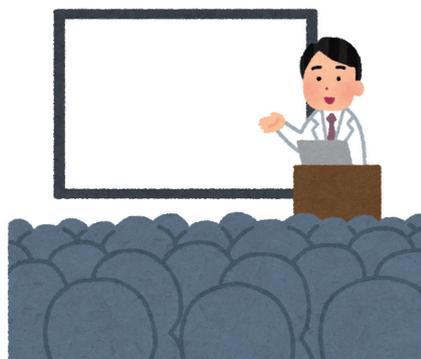
中央大学大学院 戦略経営研究科教授
多摩大学大学院 特任教授
真野 俊樹 先生



国際医療センター 血液浄化部
渡辺 裕輔 先生



会長・埼玉医科大学理事長
丸木 清之 先生



新地域医療連携室長のご挨拶



ましも ゆみ
真下 由美

診療科：地域医療科 / 消化器内科（消化器内視鏡科）准教授
専門分野：内科学、消化器病学、
消化器内視鏡学（消化管腫瘍に対する内視鏡的治療）

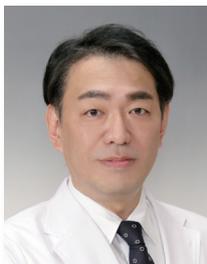
この度、地域医療連携室長を拝命いたしました。

消化器内科（消化器内視鏡科）との兼任でございます。これまで、地域の先生方にご紹介いただき、数多く、内視鏡治療をさせていただいて参りました。

埼玉医科大学国際医療センターは、地域の先生方からのご紹介で成り立つ病院と認識しております。先生方・患者様に信頼され、これまで以上に満足いただける医療連携システムを、当院の前方・後方支援スタッフと共に、少しずつ作り上げたいと存じます。

今後とも、より強固な連携を、よろしくお願いいたします。

新任診療部長のご挨拶



ひらの やすみつ
平能 康充

診療科：消化器外科（下部消化管外科）教授
専門分野：下部消化管外科、内視鏡外科

令和3年2月1日付で消化器外科（下部消化管外科）診療部長・教授に就任いたしました。

当科では大腸癌に対する手術治療を主に行っており、センハンスという最新の手術支援ロボットによる手術やお臍の3cm程度の傷のみで行う単孔式腹腔鏡手術を積極的に取り入れ、体に優しくきめの細かい治療をモットーに治療を行っております。

大腸癌の患者様がおられましたら、ご紹介の程宜しくお願い申し上げます。

新任診療部長のご挨拶



おおや よしたか
大谷 義孝

診療科：救命救急科 講師
専門分野：救急医学全般、外傷外科、災害医学、ショック、心肺蘇生

4月から救命救急科診療部長を拝命しました。

ショックや、多発外傷など緊急、重症症例に限らず、高齢化やCOVID-19の蔓延などで救急医療の需要は増え続けています。地域の救急医療ニーズを満たし、患者さんの生命を守るため、24時間体制で診療を行っています。

また、当科はAcute care surgery部門も併設しております。急性腹症等で緊急手術が必要な患者さんがいましたら是非、ご紹介ください。

新任診療部長のご挨拶



とりごえ ともあき
鳥越 知明

診療科：骨軟部組織腫瘍科・整形外科 教授
専門分野：骨軟部腫瘍、骨軟部腫瘍の画像診断、凍結自家骨移植、ナビゲーション手術

2021年4月1日に埼玉医科大学国際医療センター 骨軟部組織腫瘍・整形外科の診療部長に就任しました鳥越と申します。

骨軟部腫瘍、特に悪性の肉腫は希少がんですが、当院は国内でも有数の high volume center であり、多くの症例を診療しています。日々の診療で骨軟部腫瘍でお困りの際は、どうぞ当科にご紹介下さい。

新任診療部長のご挨拶



なかむら やすひろ
中村 泰大

診療科：皮膚腫瘍科・皮膚科 教授
専門分野：皮膚腫瘍、皮膚外科、がん薬物療法

平素より地域医療連携では近隣医療施設の先生方にお世話になっております。2021年4月より皮膚腫瘍科・皮膚科診療部長の任を仰せつかりました中村泰大と申します。

2013年4月に当科赴任以降、継続して診療・研究・教育に従事してまいりました。当科での対応疾患は皮膚良性・悪性腫瘍全般です。特にメラノーマ、基底細胞癌、有棘細胞癌、Paget病、血管肉腫、メルケル細胞癌などの固形癌を中心とした悪性腫瘍の診療が中心となりますが、少しでも皮膚腫瘍領域で地域の患者さんにお役に立てるようスタッフ一同精進してまいります。

先生方におかれましては引き続きご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

新任診療部長のご挨拶



たかはし なおき
高橋 直樹

診療科：造血器腫瘍科 教授
専門分野：悪性リンパ腫の診断と治療

この度、令和3年8月1日付けで国際医療センター造血器腫瘍科教授、診療部長を拝命致しました。

私は平成19年国際医療センター開院以来、造血器腫瘍科で悪性リンパ腫を中心に診療、教育、研究を行って参りました。開院以来沢山の患者様を受け入れ、地域医療に大きく貢献しています。

血液疾患は、診療科単独で対応できる場合は少なく、今後も各診療科、連携施設の先生方との協力体制が重要です。今後も御指導宜しくお願い申し上げます。

新任教授のご挨拶



みずいで まさふみ
水出 雅文

診療科：消化器内科（消化器内視鏡科） 教授
専門分野：内科学、消化器病学、消化器内視鏡学（胆膵）

令和3年4月1日付で埼玉医科大学国際医療センター消化器内科教授を拝命致しました。

私は、平成8年に浜松医科大学医学部を卒業し群馬大学第一内科に入局、胆膵領域を専門とする消化器内科医として研鑽を積んで参りました。平成17年より群馬大学胆膵グループの責任者として、困難症例を中心とした胆膵内視鏡診療に携わってきました。縁あって、平成29年10月に准教授として当院へ赴任しております。

現在は、主に胆膵悪性疾患の内視鏡診断・治療に従事しております。該当する症例がございましたら、当院へご紹介頂ければと存じます。

新任教授のご挨拶



おおいがわ ひでとし
大井川 秀聡

診療科：脳卒中外科 教授
専門分野：脳血管障害の外科治療

令和3年5月1日付で埼玉医科大学国際医療センター脳卒中外科教授を拝命いたしました大井川秀聡（おおいがわ ひでとし）と申します。平成7年に防衛医科大学校を卒業し、長く脳卒中医療に携わってまいりましたが、この度当院脳卒中外科で勤務させていただくこととなりました。

脳卒中医療は地域連携が治療成績の向上に繋がる疾患の一つです。脳卒中の治療や予防に関してはもちろん、相談事項などありましたらいつでもご連絡・紹介いただけたら幸いです。日頃から「顔の見える医療」「丁寧な医療」を心がけ、皆様のご期待に沿えるよう、全力で診療を行ってまいります。

新任教授のご挨拶



やまざき ともこ
山崎 知子

診療科：頭頸部腫瘍科・耳鼻咽喉科 教授（医師・歯科医師）
専門分野：頭頸部癌、甲状腺癌、歯科

2021年10月より埼玉医科大学国際医療センター頭頸部腫瘍科教授として着任いたしました山崎知子（やまざきともこ）と申します。腫瘍内科医として、頭頸部癌と甲状腺癌の薬物療法や支持療法を行っております。

ご存じのように、がんを有する患者様、ご家族には多くのサポートを要します。そのため、地域の医療機関（病院、クリニック、在宅、歯科）の先生方と協同する機会が多いかと存じます。がん薬物治療のみならず、就労支援や社会復帰、予防医学なども含めて、幅広いがん診療を行いたい所存です。

患者様のご紹介などお気軽にお問い合わせください。また、地域での勉強会も行っていきたいと存じます。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。

当院は予約制です 下記の方法でご予約ください

① 患者さんからの電話予約

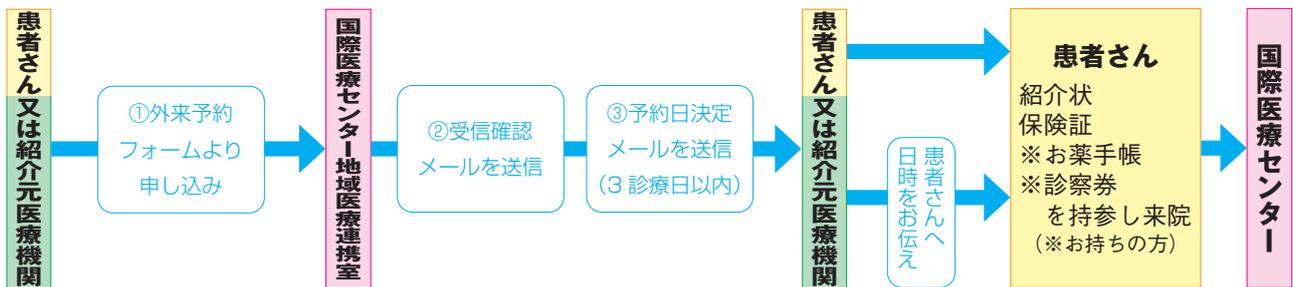


② 医療機関からの電話予約



③ インターネットからの予約 (初診専用)

紹介状は患者さんへお渡しください。



Organization Accredited
by Joint Commission International



インターネット
予約入力フォームは
こちらから



埼玉医科大学国際医療センター 地域医療連携 News (第24号)

編集・発行：埼玉医科大学国際医療センター
地域医療連携室

編集責任者：真下 由美
発行責任者：佐伯 俊昭

住 所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

TEL：042-984-4433

FAX：042-984-4740

発行日：2022年1月15日

URL：https://www.international.saitama-med.ac.jp/